

京都市子ども安全ネットワークニュース

平成 19 年 8 月 発行：京都市子ども安全会議事務局

教育委員会体育健康教育部 213-5472 <http://www.edu.city.kyoto.jp/taiikukenko/>

地域の子どもは地域で守り育む!!

～安全マップの作成・周知を通して～

「第 1 回京都市スクールガード養成講習会」を開催!



第 1 回「京都市スクールガード養成講習会」(京都市教育委員会と京都市子ども安全会議との共催)が 6 月 20 日に京都市総合教育センターで開催され、スクールガードの代表者等 330 名が全市から参集されました。

講師の子どもの危険回避研究所 所長 横矢 真理先生には、「安全マップの作成・周知」を通して子どもの安心安全を確保する取組等について具体的にお話いただき、各地域での活動に大いに参考となるものでした。受講者は横矢先生の講演に熱心に耳を傾け、メモを取る姿が多数見られました。

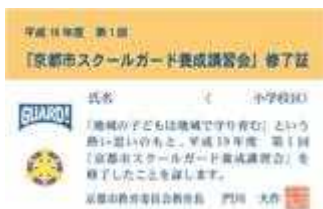
受講者からは、「具体的でわかりやすかった、持ち帰って広げたい」「身の回りのことで知っているはずなのに、あらためて気づくことが多くあった」「学校と P T A で作った安全マップはあるが、子どもの目線で作り直してみたい」などの声が寄せられており、講習会の内容が、早速、地域で活用されることが期待されます。

本講習会を通して、京都市の子どもの安心安全は、各地域で献身的に取り組んでいただいているスクールガードの方々一人一人の熱い思いによって支えられていることを再確認しました。



横矢 真理 先生

【「京都市スクールガード養成講習会」修了証の発行】



表面



裏面

「京都市子ども安全会議」からの提言(裏面参照)を受けて発行しました。活動時にも手軽に携帯できるカードサイズです。裏面には 19 年 2 月に制定された「子どもを共に育む市民憲章」を掲載しています。

「京都市スクールガード養成講習会」は 10・11・2 月にも開催予定!! 参加をお待ちしています。

かけがえのない子どもたちのために!安全確保の取組の更なる充実・継続を! ～「京都市子ども安全会議」を開催～



6月7日に京都市総合教育センターで19年度第1回の会議が以下のとおり開催されました。

1. 子ども安全の取組を報告

スクールガード養成講習会(裏面参照)に参加された方が地域に戻られてからも、当事者意識を持って活動していただくために、「修了証」を発行してはどうかとの提言があった。

2. 藤岡一郎顧問(京都産業大学大学院教授)の講演

テーマ:「子どもの安全支援ネットワークづくり」について

京都市では、11年12月の伏見区小学校事件を原点として、先進的な取組が展開されており、全国トップと言える。実践事例集の内容も他に例を見ない立派なもので、一層の発展を期待する。

課題

家庭・地域・学校・行政の連携を強化し、安心・安全ネットワークをより強固なものとする。その上で、子どもの「人間力」形成につなげていくこと。

それぞれのネットワークを0歳～概ね18歳の時間軸と各年代ごとの面、言わばタテ・ヨコの軸でとらえ、重ね合わせる必要がある。

3. 意見交換

「子どもを共に育む市民憲章」の具体化に向け全市で「挨拶運動」を展開する予定 [地生連]

京都発!全国をリードする地域ぐるみの取組,全小学校区を紹介 ～「もっと出会おうもっと話そう 地域ぐるみの学校安全」～



平成18年3月発行



平成19年3月発行

京都市ではPTAや地域の方々による「見守り隊」が各小学校区で結成されており、子どもたちの登下校時の見守り活動など様々な取組が展開されています。キーワードは「無理なく継続,地域に定着」です。

こうした取組は、子どもたちだけの安全確保にとどまらず高齢者の見守りなど地域全体の安心・安全を目指した取組へと進化しつつあります。

事例集は体育健康教育室のホームページ

(<http://www.educity.kyoto.jp/taiikukenko/>)

に掲載していますので、是非ご覧ください。